

2019 年度事業計画

福岡未来創造プラットフォーム

1. 学生募集作業部会.....	1
1-1. 「学生募集・PR」事業.....	1
1-2. 「ホームページ運営」事業.....	2
2. 地域人材育成作業部会.....	3
2-1. 学生教育プログラム開発事業①「福岡未来創造プログラム」の開発.....	3
2-2. 学生教育プログラム開発事業②「MICE 人材基礎セミナー」の実施.....	4
2-3. 学生ネットワーク構築事業①「福岡市防災訓練」への参加.....	5
2-4. 学生ネットワーク構築事業②「学生地域活動大賞」の実施.....	6
2-5. 学生ネットワーク構築事業③地域活性化イベントへの参加協力.....	7
3. 地元就職・定着作業部会.....	8
3-1. 地元企業による学生のための JOB カフェ事業.....	8
3-2. 地域企業インターンシップ等の共同実施.....	9
3-3. 「ビジネスチャレンジ」事業.....	10
3-4. 大学間創業連携調査検討事業.....	11
4. 生涯学習作業部会.....	12
4-1. 「子どもの貧困」を科学する.....	12
4-2. リカレントカフェ.....	13
4-3. 大学の生涯学習情報発信事業.....	14
5. 大学・自治体・産業界交流作業部会.....	15
5-1. 「対話と交流の場創造」事業.....	15
5-2. 「共同 FD・SD」事業.....	16
5-3. 「施設・設備の共同利用促進」.....	17
5-4. 「人事交流の促進」事業.....	18

1. 学生募集作業部会

1-1. 「学生募集・PR」事業

目的

九州圏内からの大学進学者に依存しているという現状に対して、今後は課題を共有する大学及び自治体等が連携協力して、従来の九州圏内に加えて、西日本エリア等の九州圏外への学生募集やPR事業等を共同で実施する。

事業概要

「ネットワーク福岡」の活動実績を継承しつつ、新たな視点で次の事項について検討する。

- プラットフォームのホームページの内容
- 各大学の募集活動を支援するパンフレットの企画及び作成
- 広報用動画媒体の企画及び制作
- 高校への広報活動の実施
- 学生募集に関する大学、自治体及び企業等の連携の可能性
- 事業に関する学生の参画の可能性

目標値

- 最終年度 入学志願者数の増加率:2%ポイント増(2017年度比、参画大学の平均値)

スケジュール

- 4月～9月 事業概要の検討
- 10月 中間とりまとめ
- 11月～2月 事業概要の具体化
- 3月 総括

1-2. 「ホームページ運営」事業

目的

福岡未来創造プラットフォーム設立にあたり、HP を開設し広告・宣伝の強化を図る。

事業概要

大学ネットワークふくおかで使用していた HP をベースに、必要な箇所についてはプラットフォーム仕様に改修する。

目標値

- 年間 18 万アクセス

スケジュール

- 4月 業者打合せ
- 4月～ HP 改修作業
- 5月～ HP 運用開始

2. 地域人材育成作業部会

2-1. 学生教育プログラム開発事業①「福岡未来創造プログラム」の開発

目的

福岡の未来を担う人材の育成に寄与するために、“福岡を知る”、“地域の課題を解決する”、“福岡の未来を創造する”、“アジアとの共生を図る”の4つのカテゴリーからなる「福岡未来創造プログラム（PF 連携校による学生教育プログラム）」を策定し、その一部について2020年度からの開講を目指す。

事業概要

PF 連携校の学生に①創造性と多様性に溢れた福岡の魅力を伝える、②福岡の未来を担う上で必要な最先端のスキルや地域課題について学ぶ機会を提供する、③グローバル人材に必要な素養を修得させることを目標に、地元企業、NPO 法人、福岡市や周辺自治体、各種教育機関等から招聘した講師陣による“福岡未来創造プログラム”を策定し単位認定を目指す。併せて、西部5大学の「博多学」など既存の単位互換科目のPFへの提供について大学間の調整を図る。さらに、受講生確保のための効果的な情報提供システムについても検討する。

目標値

- 今後5年間の「福岡未来創造プログラム」策定
- 2020年度開講科目確定
- PF 連携校学生への効果的な情報提供システムの構築

スケジュール

- 5月～6月 「福岡未来創造プログラム」具体案策定
- 6月 地域人材WGで審議、修正
- 6月～7月 「福岡未来創造プログラム」具体案確定
- 8月～12月 各科目講師依頼、シラバス作成依頼
- 9月～12月 2020年度開講に向けたPF連携校学内調整、
受講生確保のための情報提供システムの検討
- 1月～2月 2020年度開講科目確定、プログラムリーフレット作成
- 2月～3月 WEB「DAiFuk.」で開講科目、シラバス公開
- 3月 PF 連携校履修登録準備、リーフレット配付
- 4月 履修登録受け付け

2-2. 学生教育プログラム開発事業②「MICE 人材基礎セミナー」の実施

目的

福岡市の行政課題の一つである観光・MICE 人材の育成に寄与するために、福岡観光コンベンションビューロー等と連携して、PF 連携校の学生を対象とした基礎的なセミナーを開講し、MICE について学生の理解促進、興味喚起を促す。

事業概要

大学在学中からグローバルに活躍できる人材の育成を目標に、福岡市の「MICE×グローバル人材育成プログラム」を応用した、PF 連携校の学生向けのオリジナルセミナーを開講する。“MICE とは”、“MICE 人材に求められる素養とは”、“就職先としての MICE 業界とは”といった基本的な情報を伝えることで、MICE 人材に関する学生の理解と興味関心の向上を図る。

目標値

- 「MICE 人材基礎セミナー」実施（複数回実施を予定）
- セミナー受講学生 60 人

スケジュール

- 6 月～7 月 基礎セミナー内容検討、確定、講師依頼、会場選定
- 8 月～9 月 広報ツール作成、学生への告知開始、申し込み受付
- 9 月末 申し込み締め切り
- 10 月～2 月 基礎セミナー等複数回開催 ※日時、会場、講師未定
- 1 月～2 月 実施内容の振り返り、課題確認、次年度計画策定
- 3 月 成果報告会

2-3. 学生ネットワーク構築事業①「福岡市防災訓練」への参加

目的

「福岡を知る」ための活動の一環として、また、他大学の学生、自治体関係者、地元住民等との交流促進を目的として、福岡市が主催する防災訓練に PF 連携校の学生をボランティアチームとして派遣し、訓練の運営をサポートする。

事業概要

福岡市が掲げる「共創の地域づくり」ならびに「防災対策の強化」に対して、学生一人ひとりの意識、関与を高めることを目標に、PF 連携校学生によるボランティアチームを結成し、9月1日に東区香椎照葉で開催される福岡市の防災訓練に派遣する。参加した学生一人ひとりがコミュニティの一員として防災活動を体験するとともに、ボランティア活動を通じた学生ネットワークの構築を促す。

目標値

- 防災訓練参加学生 50 人
- PF ボランティアグループ結成

スケジュール

- 5月～6月 福岡市市民局との学生派遣に関する調整、協力内容確認
- 6月～7月 広報ツール作成、学生ボランティアメンバー募集
- 8月 ボランティアチーム結成、学生、市民局との事前確認
- 9月1日 防災訓練
- 9月末まで 学生との振り返り実施、課題確認
- 10月 福岡市市民局との振り返り、次年度に向けた意見交換実施
- 3月 成果報告会

2-4. 学生ネットワーク構築事業②「学生地域活動大賞」の実施

目的

「環境」「福祉」「学習支援」「まちづくり」など、実際の地域社会と関わる研究や活動に取り組む学生グループによるコンペティションを行い、地域社会の活性化や地域の将来を担う人材の育成に貢献する優秀な活動、学生グループを表彰する。

事業概要

PF 連携校の学生が中心となって地域の中で実践的に行う活動を広く募集し、書面による一次審査を経て、二次審査で学生グループによるプレゼンテーションを行う。各チームのプレゼンはPFを構成する産官学メンバーで審査し、最優秀賞1チームと優秀賞4チームを選考する。また、参加学生による「地域活動のネットワーク構築」をテーマとするワークショップを同時に開催する。

目標値

- 一次審査応募件数 15 件
- 二次審査（ワークショップ）参加学生数 50 人

スケジュール

- 7月 実施概要公開、エントリー受け付け
- 9月末 エントリー締め切り
- 10月中旬 申し込み締め切り、一次審査（書面審査）
- 10月下旬 一次審査結果通知
- 11月下旬 二次審査（各グループプレゼン）、結果発表、表彰
- 12月 今年度事業の振り返り、課題確認、次年度計画策定
- 3月 成果報告会

2-5. 学生ネットワーク構築事業③地域活性化イベントへの参加協力

目的

福岡副都心の活性化を目的に、各区役所、企業、NPO 法人等が主催して行うイベントに、地域貢献活動に興味、関心を持つ PF 連携校の学生がチームとして参加し企画運営に携わることで、福岡市内をカバーする学生ネットワーク構築と活動拠点の拡大を目指す。

事業概要

クリスマスシーズンの天神地区、博多駅前地区の賑わいを、大橋、香椎、西新といった福岡の副都心にもたらしすことを目標に、これまで各地区単独で実施してきたクリスマスイベントの3地区での合同開催に向けて、PF 連携校の学生がそれぞれの大学に近いエリアのイベント企画、運営に参加する。またそれらの活動を通じて福岡市内の複数の拠点で活動可能な学生ネットワークの構築を目指す。

目標値

- PF ボランティアグループ イベント参加学生数 30 人
- 次年度のクリスマスイベント継続実施

スケジュール

- 5月～6月 福岡市南区、早良区、東区ならびに各地区イベント関係者との学生派遣に関する意見交換実施
- 6月～7月 学生ボランティアメンバー募集
- 8月 ボランティアチーム結成
- 9月～10月 学生と各区関係者によるイベント運営に関する協議
- 10月～11月 広報ツール作成、PR 活動協力
- 12月 早良区、東区、南区でのイベント運営協力
- 1月～2月 学生、地域関係者との振り返り、課題確認、次年度計画策定
- 3月 成果報告会

3. 地元就職・定着作業部会

3-1. 地元企業による学生のための JOB カフェ事業

目的

プラットフォーム参画大学の学生と地場企業が相互理解を図る交流イベントを開催することで、学生の職業観を醸成するとともに、地場企業の魅力や働きがいを学生に伝え、地元就職を促進する。

事業概要

若者の地元就職・定着に向けたファーストステップとして、プラットフォーム参画大学の学生、主に低学年の学生と地元企業で働く社会人が自由に語り合い、『働くこと』について学べるイベントを開催する。

目標値

- プラットフォーム参画大学の学生参加者 1 回あたり 50 名

スケジュール

- 4 月～8 月 イベント企画
- 9 月～2 月 イベント開催（1 回以上）

3-2. 地域企業インターンシップ等の共同実施

目的

社会体験と教育研究の融合による学生の学修意欲の喚起、高い就業意識の育成、自主性・独創性のある人材育成を目的とした産官学連携の教育プログラムとして実施する。

事業概要

- プラットフォーム参画大学で実施されているインターンシップの現状調査
- インターンシップ推進協議会の実施状況調査
- インターンシップ実施企業のプログラム調査
- インターンシップに関する学生の意識調査

目標値

- 2020年度実施に向けたプログラム（案）の構築

スケジュール

- 4月～9月 各調査実施
- 9月～2月 次年度プログラム（案）策定

3-3. 「ビジネスチャレンジ」事業

目的

大学生の創業マインド，チャレンジ精神を醸成するとともに，社会人基礎力を持つ，地元企業の将来を支えるような人材の育成を推進する。

事業概要

起業，ビジネスの提案等，創業マインドの醸成につながる活動を行う学生グループを募集し，学生が自ら考えたビジネスプランの実現に向けた活動をするにあたり，プラットフォームが活動費の補助、経験豊富なアドバイザーの派遣で支援する。

目標値

- 起業家の輩出数：2023年度までに5人 ※5年間実施の場合、要検討

スケジュール

- 5月下旬 キックオフセミナー，事前セミナー
- 6月中旬 応募締切
- 6月下旬 審査会
- 7月～1月 活動（9月・12月 中間報告会）
- 2月下旬 成果報告会

3-4. 大学間創業連携調査検討事業

目的

各大学において創業支援・アントレプレナー教育に取り組んでいるものの大学単位、教授単位にとどまっている現状にある。創業に向けた大学間の連携や大学の枠を超えた学生の連携等、今後の創業支援のあり方について調査・検討をおこなう。

事業概要

プラットフォーム参画大学において、創業支援・アントレプレナー教育に取り組む教授等を訪問しヒアリングを実施。これにより各大学における創業・起業の取り組みや学生コミュニティの調査・発掘をおこない、今後の創業支援・大学連携のあり方について検討をおこなう。

目標値

- 次年度以降の大学間創業連携のあり方を策定

スケジュール

- 4月～5月 各大学への事前アンケート（窓口確認、学生コミュニティ確認等）
- 6月～9月 プラットフォーム参画大学へのヒアリング
- 10月～12月 あり方検討会（月1回程度）
- 2月～3月 あり方の提案・共有

4. 生涯学習作業部会

4-1. 「子どもの貧困」を科学する

目的

「子どもの貧困」に関する最新の研究動向の学習を媒介にして、関係者同士が会うことで、解決にむけた新たな一歩が生まれるためのネットワークづくりを目的とする。主たる対象者は、①すでに活動に取り組んでいる実践者、②これから活動に参入したいと考えている退職者。

原則5回すべてに参加できることを応募条件とする。受講料は2,000円（予定）。

事業概要

- 1. 子どもの貧困を「科学」する① 総論
複合的不利の累積、貧困の連鎖、社会的相続などの基礎概念を学ぶ。
- 2. 子どもの貧困を「科学」する② 各論
貧困から子どもの身体と心を守るための基礎知識を習得する。
- 3. 子どもの貧困を「科学」する③ 各論
現代の「苦学生」の実情を知る。元新聞奨学生による話題提供。
- 4. 反「子どもの貧困」にむけて①
生活困窮者支援とアートを結びつけた活動を紹介。
- 5. 反「子どもの貧困」に向けて②
福岡市内の子どもに関する市民活動との出会いの場。

目標値

- 定員 50名×5回=250名

スケジュール

- 6月 講師調整
- 7月 要項確定、広報開始
- 8月 募集期間
- 9月 募集期間
- 10月 初旬に参加人数確定。講師へ連絡
第1回（第3週目にスタート）、第2回（第4週）
*10月17日は「貧困撲滅のための国際デー」
- 11月 第3回（第1週）、第4回（第2週）、第5回（第3週）、
関係者によるふりかえり（第4週）

4-2. リカレントカフェ

目的

人生 100 年時代を見据えて、地域の多様な人びとがライフステージや学習ニーズに応じて生涯学ぶ(学び直す)ことができ、単線型のキャリアパスからマルチステージの人生へ転換できる学習環境の構築・充実化を図るための仕組みを、産学官で構築する。

事業概要

「学び」をテーマに年齢、職業、社会的属性の異なる多様な参加者による「対話」の場を提供し、参加者同士の自由な語らいの中から生涯学習やリカレント教育(社会人の学び直し)など、「学ぶこと」の意義や価値、自身の向き合い方について気づきを得てもらうとともに、同じ関心を持った参加者同士のネットワーキングを図り、リカレント教育の普及推進に関心をもつ担い手の発掘とネットワークづくり(およびリカレント教育が根づく土壌・文化の醸成)を進める。

目標値

- 200 名

スケジュール

- 1. 大学・自治体・産業界での対話と交流の場づくり(主に年度前半)
6月～11月にかけてワールドカフェ等の対話・交流の場を5回程度開催(定員 40名)
＜開催企画の例＞
「大学教員」×「経営者」 テーマ「社会人の継続的な学びとは」
「経営者」×「労働者」 テーマ「人材育成は誰のものか」
「アクティブシニア」×「現役世代」 テーマ「人生100年時代に備える学び」
「勤め人」×「フリーランス」 テーマ「複業時代を生き抜く学び」
そのほか、テーマとして「働く女性と学び」や「社会教育施設と大人の学び」など
- 2. ニーズ把握と推進体制の構築(主に年度後半)
上記の対話・交流の場で交わされた意見等をもとに、①企業ニーズ、②受講者(社会人)ニーズ、③大学等が提供できる知的リソースの包括的に把握するとともに、上記の対話・交流の場での出会いを軸に大学・自治体・産業界のそれぞれでリカレント教育の必要性が認められ、プラットフォームを母体に各セクターが連携し多様なプログラムが開発され、体系化されていく仕組みを構築していく。

4-3. 大学の生涯学習情報発信事業

目的

人生 100 年時代を見据えて、プラットフォーム参画大学の生涯学習プログラムの情報（内容・魅力・受講制度等）を効果的に発信することにより、大学で学ぶことを市民にとってより身近なものにしていく。

事業概要

中心市街地の公共施設や商業施設のオープンスペース等を活用して、プラットフォーム参画大学の生涯学習プログラムを紹介する公開講座や展示会を開催する。加えて、各大学の生涯学習プログラムの情報を体系化・整理して、インターネット上で発信する仕組みも構築する。

目標値

- ・ イベントの来場者数：300 人

スケジュール

【公開講座・展示会】

- ・ 5 月～9 月 イベント企画・オープンスペースの開拓・利用交渉
- ・ 10 月～2 月 イベント開催（2 回以上）

【情報の体系化・整理】

- ・ 5 月～9 月 プラットフォーム参画大学の生涯学習資源の情報収集
- ・ 10 月～2 月 情報発信の仕組みの検討・構築
- ・ 3 月末～ 順次情報発信

5. 大学・自治体・産業界交流作業部会

5-1. 「対話と交流の場創造」事業

目的

プラットフォームに参画する大学・自治体・産業界の職員等を対象とした対話と交流の場を継続的に開催することで、参画機関間での顔の見える関係性づくりを進めるとともに、福岡の未来創造につながる多様な提案の創出につなげる。

事業概要

プラットフォームに参画する大学・自治体・産業界の対話と交流を促進する企画・イベントを継続的に開催する。福岡の未来創造に関わるテーマについて産学官での対話と交流を進めるとともに、そこで生まれたアイデアや構想等を代表者会議・運営委員会・作業部会等にフィードバックすることで、新たな事業や仕組等の創出につなげていく。

目標値

- 実施 3 回以上
- 参加者数 100 人以上

スケジュール

- 5月～7月 企画詳細の検討・確定
- 8月～9月 第1回目準備・広報
- 10月 第1回目開催
- 11月 第2回目準備・広報
- 12月 第2回目開催
- 1月 第3回目準備・広報
- 2月 第3回目開催
- 3月 成果とりまとめ、プラットフォーム内で共有

5-2. 「共同 FD・SD」事業

目的

大学の教職員の資質向上及び大学間の交流の促進を目的に、プラットフォーム参画大学の共同による FD・SD 研修事業を推進する。

事業概要

プラットフォーム参画大学の共同による FD・SD 研修を企画・実施する。第 1 回目はプラットフォームのキックオフイベントとして、自治体及び産業界からも参加のもと未来の大学のあり方をテーマにした研修を企画・実施する。第 2 回目は、参画大学のニーズを踏まえるとともに、産業界や自治体からもノウハウや知見等の提供を受けて企画・実施する。加えて、各大学で実施されている FD・SD 研修をプラットフォーム参画大学の教職員も受講できる仕組づくりを進める。

目標値

- 共同実施 4 回 (PF 企画 : 2 回以上、既存 2 回以上)
- 参加者数 140 人以上

スケジュール

- 5 月～6 月 共同研修の企画・準備・広報
- 7 月 第 1 回目の共同研修の実施
- 6 月 調査内容・方針の検討・確定
- 7 月～8 月 調査実施・調査結果とりまとめ、作業部会にて共有
→調査結果を踏まえて、既存の FD・SD の共同受講の仕組の検討・調整を進める (年度内に一部大学で共同受講を実現)
- 9 月～11 月 共同研修の企画・準備・広報
- 12 月 第 2 回目の共同研修の実施

5-3. 「施設・設備の共同利用促進」

目的

プラットフォーム参画機関の間で施設・設備の共同利用に関する仕組を整備していくことにより、各参画機関の事業の効率化や財政負担軽減等の促進につなげていく。

事業概要

①プラットフォームに参画する大学・自治体・産業界の施設・設備の共同利用に関するニーズ調査を実施する。②各参画機関が所有する施設・設備等の資源の調査を実施する。①②に基づき、施設・設備の共同利用に関する仕組及び実績づくりを進める。

目標値

- 共同利用実績：2件以上

スケジュール

- 5月～10月 施設・設備の資源及びニーズ調査
→調査のプロセスと並行して、プラットフォーム内の事業で必要となる共同利用に関しては個別に交渉・調整を進める。
- 11月 調査結果とりまとめ
- 12月～2月 作業部会において共同利用の仕組の検討
- 3月 運営委員会に経過報告

5-4. 「人事交流の促進」事業

目的

プラットフォームに参加する大学・自治体・産業界の間で人事交流の仕組の整備を進めることで、プラットフォーム内の人的交流の促進及び人材の育成につなげていく。

事業概要

プラットフォームに参加する大学・自治体・産業界に対して人事交流に関する実績及びニーズ調査を実施する。同調査を踏まえた上で、実施希望がある機関間でマッチングを進め、実績づくりを進める。ニーズ調査や人事交流の結果はワーキンググループや運営委員会等において共有し、プラットフォーム全体の人事交流の仕組づくりにつなげていく。

目標値

- 人事交流実績：1件以上

スケジュール

- 5月～10月 人事交流の実績及びニーズ調査
→調査のプロセスと並行して、人事交流の実施希望がある参画機関間からマッチングを進めていく
- 11月～3月 WG及び運営委員会で調査結果の共有、仕組づくりの検討